弟子たちの訓練

会期 5: 弟子訓練とは何か?(2日)

ロン・ライブリー、M.Div.、M.A.による提供 – BiblicalMentoring.org(学問)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人が記憶の節を引用します: ヴァース: **テモテへの第二の手紙 2:2**

1 それゆえ、私の子よ、キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。2 そして多くの証人の前で私から聞いたことを忠実な人々に託し、彼らが他の人々にも教えることができるでしょう。

ステップ3: *聖書の章の全てまたは一部を読んで議論してください。* **テモテ第二の手紙 2章**

ステップ4: 個人申請やグループディスカッションのための質問:

一. 著者は無責任な伝道が霊的な無視を招くと書いています。これが弱く表面的な信者を生み出す理由がわかりますか?

二. フィリップスが「弟子としての道は責任ある親であることと切り離せない」と書くとき、それは何を意味しているのでしょうか?

三. 弟子作りの仕事はいつ終わりますか?

四. なぜテモテ第二の手紙2章2節が弟子作りの成功に重要なのでしょうか?

五. なぜキリストの命令/人間の応答図が著者の主要なメッセージを最もよく表しているのでしょうか?

ステップ5: *本の内容を読んで議論してください:*

第2章(著者キース・フィリップスによる):

高品質な再現が保証されています

もし私が伝道に関わり、11,000人以上の新しいクリスチャンの世話をしていたら、毎年9月から12月までクリスマスカードを送るだけでもらえるでしょう。人々をキリストに導くのに忙しく、彼らの世話や成長を助けることは不可能でしょう。名前を思い出すだけでコンピューターが必要なでしょう。そのような無責任な伝道は霊的な子どもの無視を招き、弱く表面的な信者を生み出します。

私は自分の伝道の腕前を自慢していました。飛行機で男性に出会い、50分間話し、キリストのもとへ導いたが、彼の名字を知らなかったと。なぜか、そのような活躍が私の霊的な活力を高めていると信じていましたが、短い出会いの後、ほとんどの「犠牲者」を見捨ててしまったことに気づきました。私は親になる責任を負うことなく、受胎の興奮や出産の喜びを味わいました。

この失敗の重大さを説明しましょう。

1976年6月、妻のケイティと私は双子の男の子、ジョシュアとポールの誕生に恵まれました。信じてください、彼らは24時間体制の世話を求めていました。私たちは彼らに食事を与え、揺らし、おむつを替え、良い親としてやるべきことをすべてやりました。

もし男の子たちが生後3ヶ月のとき、ケイティと私が休憩が必要だと決めたとしましょう(実際にそうしました)。そこでジョシュアとポールをソファに立てかけて話をしました。

私は疲れ切っていて、2週間の休暇に一人で行くと伝えました。しかしすぐに心配することはないと安心させました。「私たちのやったことは全部見てきたから、もう自分のケアの仕方はわかっているはずです。でも、もし何か忘れていたら、詳しく指示を打っておいてあります:ミルクの作り方、自分で食べさせる方法、おむつの替え方、症状のあり方。これら

の指示は冷蔵庫に貼り付けておき、旅程表も残しておいてください。質問があれば電話してください。心配しないでください。」

もしケイティと私が本当に生後3か月の男の子たちにそんなことをしていたら、児童虐待で刑務所に入れられていたでしょう。乳児は自分で食事も世話もできません。自立できる年齢になるまで昼も夜も見守られなければなりません。

弟子としての道は責任ある親であることと切り離せません。霊的な親は、肉体的な親と同様に、神に対して子どもの世話と養育について責任を負います。パウロは自分がコリント人の霊的な父であることを知っていました。「…キリスト・イエスにあって、私は福音を通してあなたの父となりました」(コリント人への第一4:15)。彼はガラテヤ人を「わが子」(ガラテヤ4:19)と呼び、テモテを「信仰における私の真の子」と呼びました(テモテ第一1:2)。彼はオネシムスのために「わたしの子、わたしが生み出した子よ」(ピレモン10章)と懇願しました。

弟子を作る者は、弟子が霊的に成熟し、繁殖する信者になるまで責任が続くことを知っています。彼は弟子に多くの時間を投資し、その必要に全心の注意を払います。弟子制度とは、霊的増殖の過程が世代から世代へと続くことを保証する質の高い繁殖のことです。

神の霊は霊的な子孫の質を監視するための安全策を設けました。パウロは、弟子を作る者と弟子の関係が四世代にわたって続いていることを示しています。「そして、多くの証人の前でわたしから聞いたことは、忠実な人々に託され、彼らが他の人々にも教えられるでしょう」(テモテ第二2章2節)。ここで、パウロ(第一世代)は霊的な息子ティモテ(第二世代)に、パウロが教えたことを忠実な人々(第三世代)に教え、その忠実な人々(第四世代)に教えます。

パウロが四世代に言及するのは偶然ではありません。弟子を作る者は、自分の弟子が他の弟子に教えているのを見て初めて、自分がどれほど効果的に教えたかを知るのです。

1972年、神はアル・エワートをウィチタ・ゲットーでの私たちの活動を指揮するよう呼びました。私は彼を弟子にしました。何ヶ月にもわたり何時間もアルと過ごし、神の人であることについて私が知っているすべてを彼に植え付けました。私たちは一緒に聖書の原則を探し、それを自分たちの生活に応用しました。やがてアルはドンを弟子にし始め、彼はそれ以来モーリスを弟子にしました。

弟子訓練の使命である他者を教えることを踏まえ、私(第一世代)はアル(第二世代)との効果を評価するには、ドン(第三世代)がモーリス(第四世代)とどう接しているかを見ることでしか評価できません。もしアルが弟子訓練(自己死と繁殖)を完全に理解すれば、ドンはモーリスに他者を教えるために他者を育てる方法を十分に訓練する準備ができるでしょう。モーリスこそがその真の証明です。

		四世代		
生成	1	2	3	4
	ポール	ティモシー	忠実な男たち	その他
	キース	アル	ドン	モーリス

大量生産を選ぶのは人間の傾向であり、質の高い技術よりも優れています。「昔のように作られていない」という言葉をどれくらい聞いたことがありますか?そして「コスト効率が良くない」という返答をどれくらい聞いたことがありますか?

何よりも品質を求めるのは、名匠職人だけです。彼の名は作品に名を刻むため、すべての品物にかけられる評判がかかっています。イエスは弟子造りの大師です。すべての信者がイエスの名を名乗るので、弟子の中に凡庸さの余地はありません。

二千年前、イエスは多くの信者に対して妥協のない率直さで語りかけました。彼は「自分の十字架を背負わず、わたしの後に来ない者は、わたしの弟子にはなれない」(ルカ14:27)と宣言されました。イエスはすべての聞き手の選択肢を二つに絞りました。人の反応が不信であれば、彼は不従順で死ぬ。彼はキリストの敵である(マタイ12:30参照)。もし彼が信仰で応えれば、従い弟子となり、自分自身に死んで子孫を残す。キリストは彼の命の主である。イエスは他の選択肢について語っていない。

クライストの		**男の**		
指揮		**反応**		
				自ら死
	信仰 →	服従 →	弟子訓練	
ついてきて	または			繁殖
	不信 →	不服従 →	死去	

キリストはこれが誰にとっても最も重要な決断になることを知っていたので、代償を数えるよう警告されました(ルカ14:28)。そして理解しがたいことですが、多くの人が「...そして彼と共に歩むことはありませんでした」(ヨハネ6:66 KJV)。

キリストの命を変える命令「私に従いなさい」は、ガリラヤ海岸の時と同じくらい今日も包み込むものです。軽く考えてはいけません。あなたの永遠の運命は、あなたの応答にかかっています。

あなたは今の権利や財産、そして人生を保持するか、すべてをキリストの主権に捧げて永遠の命と神との平和と引き換えにするかのどちらかです。レビのように「...すべてを捨てて立ち上がり、キリストと共に行った」ことほどキリストを喜ばせることはありません(ルカ5:28 LB)。

キリストの呼びかけは今も何世紀にもわたって響き続けています。「私と共に死ね!」私たちの救いは神の恵みによって生じ、根ざしています。神の恵みこそが源です。私たちの信仰こそが道具です。しかし、私たちの従順は人間の必須の反応であり、否定できない救いの証拠でもあります(エペソ人への手紙2:8-10)。それが私たちの信仰の証明なのです。だからこそヤコブは「行いなき信仰は死ぬ」と言っています(ヤコブ2:17)。

(24b-29ページ)

弟子のチェックリスト – 弟子訓練とは何か?
____ 自分自身に死んだ。
____ 私はキリストにある自分の満ちた命を他者に再現しています。

***ステップ6**:最後に、個人的な祈りの願いを共有し、お互いの願いを祈ることで締めくくります。*

出典: 弟子の形成 キース・フィリップス博士著。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(学習問題を除く)は本書から抜粋し、改訂は加えていない。
改訂20261011